

11. 環境教育の推進

提言

全世代を対象として、湿原を環境教育の場として活用すべきである。そのためには地域リーダーの育成を図ることが必要である。

具体的施策

- ・ 湿原保全についての環境教育
- ・ 自然体験の場の構築
- ・ 地域住民が参加できる仕組みづくり
- ・ 環境教育を実践、支援するためのネットワークづくり
- ・ 利用者への環境情報の提供
- ・ 地域リーダーを育成し、維持できる仕組みづくり

これまでの調査、検討結果

○「釧路湿原環境教育」WG/環境教育資料作成部会検討概要(第7回利用小委員会資料)

「釧路湿原環境教育ガイド(児童生徒用)」と「指導資料(教師用)」の作成

① 釧路湿原環境教育ガイド(児童生徒用)

ア 作成目的

流域の小中学校の「総合的な学習の時間」の学習テキスト用として作成する。

イ 内容構成

- ・ 体験活動の前段階として湿原に関心をもったり、自分の課題をもつことができるような基礎的な情報提供
- ・ 自然との触れ合いや調査・観察などの体験活動の方法、話し合いの方法、発表の方法など、学び方を育てるための自主学習の手引き
- ・ 調査するために必要な情報提供(関連施設、関係図書、専門家、NPOなど)
- ・ 湿原保全のための情報提供

② 指導資料(教師用)

ア 作成目的

上記の環境教育ガイドを使用して指導する際、教師の参考資料として作成する。

イ 内容構成

- ・ 「総合的な学習の時間」で指導するに当たって ・ 詳しい湿原情報
- ・ 「環境教育ガイド」の活用方法 ・ 各ページの解説

これまでの調査、検討結果

○「釧路湿原環境教育」WG/地域リーダー育成部会検討概要(第8回利用小委員会資料)

●地域リーダー育成部会の基本方針

① 地域リーダー育成のためのネットワーク

- ・ 協力関係者一覧表の作成 ・ 組織作り ・ ネットワークの作成と活用

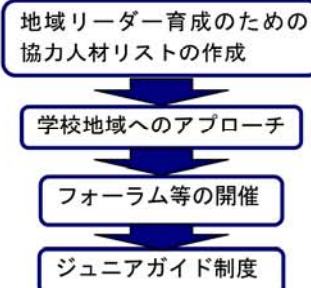
② リーダーの育成

ア 目指すもの:「湿原をテーマとして体験活動や学習により、自然のすばらしさや、環境問題・湿原保全の大切さなどについて『気づく心』を育てる。

イ 育成の方策:

- ・ 小中学生向け→育成のための学校カリキュラムへのアプローチ、湿原学習会、各クラブ育成と運営、ジュニアガイド認定と運営
- ・ 高校・大学生向け→湿原関係講座の養成と開催、地域リーダーとのかかわり(サブリーダー育成)

●地域リーダー育成の流れ



※都合により、掲載できません。

平成15年度実施(検討)内容

○ 湿原保全についての環境教育、自然体験の場の構築、地域住民が参加できる仕組みづくり、環境教育を実践、支援するためのネットワークづくり、利用者への環境情報の提供

○ 地域リーダーを育成し、維持できる仕組みづくり

- ・ 環境教育資料作成のためのWGの継続開催
- ・ 釧路湿原川レンジャー活動、釧路湿原国立公園ボランティアレンジャー活動等
- ・ 市民参加、環境教育等の推進に関する提言